

現在、一生のうち2人に1人は何らかのがんにかかると言われており、がんは全ての人のにとって身近な病気になってきています。  
また、検査や治療技術の進歩により早期発見・治療が可能となり、必ずしも「がん＝死」ではなくなってきています。

実際に治療を受けながら生活されている方も沢山おられます。しかし、がんと告げられることは衝撃的なことです。告知を受けた直後は病気を認めたくない気持ちが強くなり、絶望感に苛まれることは当然のことです。

少し落ち着いて心の整理が出来てくると、この先どうしたらいいのか漠然とした不安が襲ってくることもあるかもしれません。



福岡看護師 下田看護師 加藤看護師長

そんな時、患者さんやご家族と一緒に今後の治療や生活（学業・仕事・子どもへのケアなど）について考えていくお手伝いをさせていただくために、当院には専門の知識を持ったがん看護専門看護師（写真）がいます。また、院内・地域の看護師に対する教育なども行っております。今後も地域のがん看護の質の維持・向上に寄与できるように活動していきたいと思っております。

## ● 公開講座 ●

講座名	開催日	時間	場所	受講料	申込	問合せ先
癌探病教室	7/7, 9/1	13:00~14:40	山崎記念講堂	無料	不要	医療社会事業課
心臓病教室	9/12	14:00~15:00	山崎記念講堂	無料	不要	循環器科外来

★詳しくは病院ホームページ「病院からのお知らせ」「公開講座・イベント」等でご紹介しています。

## ● 健診センターからのお知らせ ●

### 「土曜日」開設の人間ドックご案内

#### ● 平日は忙しくて！という方向け

平日は忙しくて健診を受けられない方（65歳以下）を対象に、土曜日の人間ドックを開設いたしました。



健診センターの一環として、武蔵野赤十字病院健診センターをご利用ください。  
お持ち申しあげています。

★詳しくは病院ホームページ「人間ドックのご案内」でご紹介しています。



QRコード

### 「平日」開設の認知症ドックご案内

#### ● 頭を健康を意識する方向け

体の健康だけではなく、頭の健康を意識する方向けに、認知症に重点をおいた認知症ドックを平日に開設いたしました。

#### 一申し込み方法

電話予約または直接健診センターへの来院予約  
月曜日～土曜日 午前9時～午後4時  
（但し年末年始 12/29～1/3及び5/1は除く）

電話番号 0422-30-5638（直通）  
または 0422-32-3111（代）



日本赤十字社

## 武蔵野赤十字病院

No.58

2018年夏

〒180-8610  
東京都武蔵野市境南町1-26-1  
TEL 0422-32-3111  
季刊 情報誌

## Eye むさしの

頼れる病院をめざします



循環器科

### 基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

### 基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります

## 循環器科

## より良い医療を目指しています

## ●基本方針

日々当科の診療に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
当院循環器科についてご紹介させていただきます。  
当科の基本方針は心臓救急疾患に対して適切に対応すること、高度な専門医療を行い、地域医療および武蔵野赤十字病院に貢献することです。

## ●14名のスタッフで救急、専門治療を行っています。

足利部長、野里部長、永田副部長を中心に14名の循環器科スタッフで診療を行なっております。地域循環器医療の中心として機能できるよう、各々の医師が責任をもって、高度に専門化した循環器疾患に対する治療に対応してまいります。専門医といたしましては、日本循環器学会専門医9名、日本インターベンション学会専門医4名、日本不整脈学会専門医2名などです。



野里部長 足利部長 永田副部長

## ●地域の先生方との連携をすすめます。

地域の先生方との連携をより高め、患者さんにより良い医療を行いたいと考えております。安心してご紹介していただける循環器科を目指します。  
お気軽にご紹介していただければ幸いです。

## ●医療の質を高めます。

医療の質を高めるためには、各々の医師がより成長することが必須であります。循環器科医師は診療、研究のいずれの面においても、より高い目標を掲げて切磋琢磨しております。



## 高度専門治療を充実させます



循環器科では不整脈、虚血性心疾患、末梢血管疾患、心不全（弁膜症、心筋症を含む）と多彩な病態に対応していく必要があります。我々は豊富な循環器病学の知識と経験をもとに、地域循環器疾患の診療、治療の中心になってまいります。

## ・不整脈

永田副部長を中心として、アブレーション治療、ペースメーカー治療、植込み型除細動器を行い、都内でも有数の症例数を誇っております。  
まだ一部の病院でしか行われていないバルーンを用いたアブレーション治療やリードレスペースメーカーなども積極的に取り入れ、専門性を高めております。

## ・虚血性心疾患、末梢血管疾患

足利部長、野里部長を中心としてインターベンション治療を迅速かつ安全に施行しております。  
慢性完全閉塞病変や高度石灰化病変などの、難易度が高い病変に対しても豊富な経験をもっておりますので安心ください。またロータブレード治療、エキシマレーザー治療、ダイヤモンドバック治療などの難易度の高い治療に精通しているばかりでなく、これらの手技の国内外の指導的立場にあるため、安全に治療が行えます。

## ・心不全領域

エビデンスに基づいた内服薬や点滴治療を行い、心臓の動きを助けるデバイスを用いて治療を行います。また、その原因疾患を検索するべき検査法や適切な治療法も行っております。  
さらに、定期的に心臓血管外科ともカンファレンスを行い、患者さんに対して最適な治療を選択しております。いずれの疾患に対しても高い専門性をもち、他院で治療困難とされる患者さんにも対応が可能です。

